

1	悪貨は良貨を駆逐（くちく）する 質の悪い人間がはびこって、優れた人間が姿を消すということ。……
2	悪銭（あくせん）身につかず 不正な手段で得た金は、つまらないことに使ってしまうからすぐなくなる。
3	悪法も法である（ソクラテス）
4	新しいブドウ酒は新しい皮袋に 新しい考えや新しい内容は、新しい形式で表現することが必要である。
5	雨降って地固まる 一度ごたごたのあったあとに、かえてよくまとまる。
6	蟻（あり）の穴から堤（つつみ）がくずれる 堅固な堤も、蟻のあける小さな穴がもとでこわれる。……
7	案ずるより産むが易（やす）し 心配するよりもやってみると、意外にやさしい。
8	石の上にも三年 冷たい石の上にも三年すわり続ければ暖まる。つらくてもがまんして続ければ、……
9	石橋をたたいて渡る 非常に用心深く、十分に確かめてから物事をなすたとえ。念には念を入れること。……
10	医者の不養生（ふようじょう） 医者は、人には養生を勧めながら、自分は案外不養生なものである。……
11	衣食足りて礼節を知る 生活が豊かになって、礼儀にも気を配るようになる。
12	急がば回れ 急ぐときには危険な近道を通るよりも、遠くても安全な道を回るほうが、……
13	一事が万事 一つのこのの様子を見れば、ほかのこともわかる。
14	一年の計は元旦にあり 何事も初めが肝心だ、しっかり計画を立て、着実に実行せよとの戒め
15	一国の政治は、その国の国民の民度を出ない（ウェーバー）
16	一寸（いっすん）の虫にも五分（ごぶ）の魂 どんなに小さく弱い者にも、それ相応の意地がある。……
17	井の中の蛙（かわず）大海を知らず 自分の周りの、ごく限られた範囲のことしか考えない、……
18	入るを量りて出するを制す 収入の額をよく計算して、それに応じた支出をすること。
19	鰯（いわし）の頭も信心（しんじん）から 信じて拝めば、鰯の頭のようにつまらないものでも……
20	氏（うじ）より育ち 人の価値は、血統よりも環境や教育や努力によるところが大きい。
21	嘘（うそ）も方便（ほうべん） 物事を円満に運ぶための手段として、時と場合によっては嘘も……
22	鶸（う）の真似をする烏（からす）、水に溺（おぼ）れる 自分の能力を考えずに人の真似をすると失敗する。
23	馬の耳に念仏 馬が念仏など聞いても少しもありがたく感じない。……
24	生みの親より育ての親 生んでくれた親よりも養い育ててくれた親の方に愛情や恩義を感じるものである。
25	瓜（うり）のつるになすびはならぬ 平凡な親からは非凡な子供は生まれない。……
26	蝦（えび）で鯛を釣る わずかな元手で大きな利益を得る。
27	岡目八目（おかめはちもく） 部外者のほうがよくわかる。
28	屋上（おくじょう）屋（おく）を架す 重複して無用なことをする。
29	おごれる者久しからず（平家物語） 栄華を極め、勝手な振る舞いをするものは、長くその地位を……
30	渴（かつ）しても盗泉（とうせん）の水を飲まず どんなに困窮しても悪いことはしないたとえ。
31	勝ってかぶとの緒をしめよ 戦いに勝っても勝ちにおごって気を許さずに心を引き締めよということ。
32	勝てば官軍 強い方が正しいとされ、弱い方が悪いとされるのが世のならわしである。
33	蟹（かに）は甲羅（こうら）に似せて穴を掘る 人は、自分の分に応じた行動をするものだ。……
34	果報は寝て待て あせらずに待っていれば、幸運は自然とやって来る。
35	亀の甲より年の功 年長者の経験は尊重しなければならない。
36	かわいい子には旅をさせよ かわいい子には苦勞の多い旅をさせて、世の中の苦しみやつらさを……
37	艱難（かんなん）汝（なんじ）を玉にす 人間は苦勞を経験して初めて立派な人物になることができる。
38	学問に王道はない 学問というものには、手軽に身につける特別な近道はない。
39	聞くは一時の恥聞かぬは末代（まつだい）の恥 知らないことは恥ずかしがらないで必ず聞きたらせということ。
40	窮（きゅう）すれば通ず 困り切ると解決の道が開ける。
41	窮鼠（きゅうそ）猫をかむ 追い詰められたねずみは、反対に猫にかみつく。……
42	麒麟（きりん）も老いては驚馬（どば）に劣る 優れた人でも老衰すると……
43	腐っても鯛 たとえ腐っても鯛は魚の王である。……
44	君子（くんし）は和して同ぜず、小人（しょうじん）は同じて和せず（論語） 人のつきあいは、……
45	鶏口（けいこう）となるも牛後（ぎゅうご）となるなかれ 大きな団体でしりにについているよりも、……
46	怪我の功名（こうみょう） 失敗が思いがけずよい結果につながること。
47	剣によって立つ者は剣によって減ぶ 武力で得たものは、武力によって減ばされる。
48	光陰（こういん）矢のごとし 歳月のたつのは早いものだというたとえ。
49	後悔先に立たず 事が終わってから、そのことについて悔やんでも取り返しがつかない。
50	恒産（こうさん）なければ恒心なし（孟子） 物質生活は人心に大きな影響を及ぼすもの……
51	弘法（こうぼう）も筆の誤り 学問や技芸が非常にすぐれた人でも時には誤ることもある。
52	虎穴に入らずんば虎児を得ず 危険を冒さなければ成功は収められない。
53	郷（ごう）に入（い）っては郷に従え 人は、住んでいる土地の風習に従うのがよい。……

54	塞翁（さいおう）が馬（幸不幸は入れかわる） 人生の禍福、幸不幸は、変転して定まらないものである……
55	災害は忘れたころにやってくる（寺田寅彦） 油断大敵。
56	歲月人を待たず 年月の流れは非常に速くて人を待ってくれないから、今という時を大切に努力せよ……
57	最大多数の最大幸福が道徳と法律の基礎である（ベンサム） 個人の快樂の追及を社会の幸福と一致させる……
58	先んずればすなわち人を制す 人より先に物事を行えば他人を押さえて有利になるが、遅れると……
59	去るものは日々に疎（うと）し 死んでしまった人は、日数がたつにつれて世間からしだいに……
60	三度目の正直 一回目や、二回目はだめでも、三回目は、確かであるということ。
61	三人寄れば文殊（もんじゅ）の知恵 平凡な人間でも三人寄り集まって考えれば……
62	鹿を逐（お）うものは山を見ず 一つのことに夢中になっている者は、ほかのことを顧みない。……
63	知って行わざるは、知らざるに同じ 知っていることも、実行に移さなければ、知らないのと同じことに……
64	宗教は国民の阿片（あへん）である（マルクス）
65	朱に交われれば赤くなる 人はつきあう友によって、善にも悪にも感化される。……
66	小人（しょうじん）閑居（かんきょ）して不善（ふぜん）をなす（大学） 暇があると、……
67	小の虫を殺して大の虫を生かす 大きい物事を成就させるためには、やむをえず小さい物事を犠牲に……
68	将を射んとする者はまず馬を射よ 目的物を得るためには、その周囲にあるものから攻めてかかるのが……
69	初心忘るべからず（花伝書） 学び始めた頃の、謙虚で緊張した気持ちを失うな意。……
70	児孫（じそん）のために美田（びでん）を買わず（西郷隆盛） 良い田を買って子孫のために財産を残しても……
71	人間（じんかん・にんげん）到るところ青山（せいざん）あり 故郷だけが骨を埋める土地とは限らない。……
72	人生意気に感ず 人生は互いの意気に感じて動くものである。……
73	好きこそ物のしょうず 素質とかよい指導者とか、大成するにはいろいろな条件が考えられるが、……
74	過ぎたるは及ばざるがごとし やりすぎは、不足と同じ。
75	捨てる神あれば拾う神あり 見捨てられる一方で助けられることもある。……
76	住めば都 住み慣れれば、どんな土地でも都同然に住み心地がよくなるものである。
77	精神一到何事か成らざらん 精神を集中して努力すればどんな困難なことでもできないことはない。
78	清濁（せいだく）あわせ呑む 度量が大きく、分け隔てしないで誰でも受け入れる。……
79	急（せ）いては事を仕損じる あまり焦ると失敗しやすい。……
80	積善（せきぜん）の家には余慶（よけい）あり よいことをしている家にはよいことがおこる。
81	世間の口に戸は立てられぬ 世の中のうちさは防ぎようがない。
82	狭き門より入れ。滅びに至る門は大きくその道は広くこれより入る者は多し 事をなすのに楽な方法を……
83	梅檀（せんだん）は双葉より芳（かんば）し 梅檀という香木は、芽ばえたときから既により香気を……
84	船頭多くして船山にのぼる 物事を進めるにあたって、指示をする人が多いために統一がとれず、……
85	前車のくつがえるは後車の戒（いまし）め 前人の失敗は後人の戒めとなる。
86	大器晩成 大人物は若いころは目立たず、年をとってから大成するという意味。
87	大木は風に折られる 高くのびた木は風当たりが強く、風害を受けることが多い。……
88	多芸は無芸 多芸の人は、とくにすぐれた芸がない。
89	立つ鳥あとを濁さず 鳥のようなものでも、飛び立つときは自分の去ったあとを濁さないように……
90	夢（たで）食う虫も好きずき 苦い夢の葉を食べる虫がいるように、人の好みはさまざまで、……
91	玉（たま）みがかざれば器（き）をなさず どんなによい玉でも、加工して磨いて始めて宝の器物となる。……
92	大は小を兼ねる 大きいものは小さいものの効用を合わせ持つ。……
93	血は水よりも濃い 血縁の力は強い。
94	朝三暮四（ちょうさんぼし） 目先の違いはあるが本質はかわっていない。……
95	長所は短所 長所もあまり当てにしすぎると、かえって失敗することがある。……
96	塵（ちり）も積もれば山となる ごくわずかなものでもたくさん積み重なるとついには高大なものとなる。……
97	使っている鍬（くわ）は光る たえず努力して自分の仕事に打ち込んでいる人は、生き生きとして美しい……
98	角（つの）を矯（た）めて牛を殺す 少しの欠点を直そうとして、かえってそのものをだめにしてしまう……
99	罪を憎んで人を憎まず 犯した罪を憎むが、その人は憎まない。……
100	鉄は熱いうちに打て 人間は純真な精神を失わないうちに十分に鍛えないと効果が上がらない。……
101	天の時は地の利にしかず、地の利は人の和にしかず（孟子） 日の吉凶や寒暑・晴雨など、天候や時日を……
102	天は自ら助くる者を助く 独立独歩、他人を当てにせず、自ら奮闘努力してやまない人には自然に……
103	出る杭（くい）は打たれる ほかの杭より高く出た杭は打ちへこまされる。……
104	燈台（とうだい）下暗し 手近のことはかえってわからず、気がつかないでいるという意味。……
105	十で神童、十五で才子、二十過ぎればただの人 小さいときは教え込めば何でも覚えるが、……
106	毒をもって毒を制す 悪いことを別の悪いことで押さえる。
107	情けは人のためならず 人に情けをかければいつかは自分のためにもなる。
108	なまけ者の節句働き 平素なまけている者に限って、ほかの人が仕事を休んで祝う節句の日になって、……
109	生兵法（なまびょうほう）は怪我（けが）のもと 未熟な兵学・武術の心得は、身を守るところか……

110	習い性となる（習慣は第二の天性） 悪い習慣を繰り返していると、それが生まれつきの性格のようになる。
111	習うより慣れよ 教わり習っただけでは自分のものにならないが、何度もやって体が慣れれば自然に……
112	逃がした魚は大きい 手に入らなかったものは大きく感じられる。……
113	二兎をおう者は一兎も得ず 同時に異なった二つのことをしようとがんばっても、どちらもうまくいかない……
114	人間は一本の葦（あし）にすぎない。だが、それは考える葦である（パスカル）
115	能ある鷹は爪をかくす 実力、才能のある人物は、むやみにそれを外部に表さず謙虚にしているが、……
116	のどもとすざれば熱さ忘れる 苦しい経験も、それが過ぎ去ればけろりと忘れてしまう。……
117	花よりだんご 外観より内容をとるという意味。
118	早起きは三文の得（徳） 朝早く起きると何かしらよいことがあるものである。……
119	人の振り見てわが振り直せ 人の行動の良い点悪い点を見て、自分の行動を反省し、欠点を改めよ。
120	人を相手にせず、天を相手にせよ
121	人を呪わば穴二つ 他人に害を与えようとすれば自分にも。
122	百聞は一見にしかず 人の話を何度も聞くよりも、一度実際に自分の目で見た方がよいという意味。
123	百里（千里）の道も一歩から 遠い旅路も足もとの第一歩から始まる。……
124	貧（ひん）すれば鈍（どん）する 貧乏すると、利口な人でも愚かになる。……
125	覆水（ふくすい）盆に返らず（過ぎたことは取り返せない） 一度失敗したことはとり返しがつかないたとえ。
126	太ったブタになるよりは、やせたソクラテスになれ
127	下手の考え休むに似たり よい考えも出ない人がどんなに時間をかけて考えても、ただ時間をかけるだけで……
128	仏の顔も三度 いかに無邪気な人、慈悲深い人でも、礼儀知らずな行いを繰り返されれば腹を立てる。……
129	まかぬ種ははえぬ 何もしないでいては、よい報いは得られない。……
130	馬子（まご）にも衣裳 身なりだけ整っていることを、皮肉に、または好意的にいうことば。……
131	自ら省（かえり）みて直（なお）くんば、千万人といえども我行かん（孟子） 自分が正しいと思ったら……
132	水清ければ魚住まず あまりに清廉潔癖（せいれんけっぺき）すぎると、人に親しまれないたとえ。
133	三子（みつご）の魂（たましい）百まで 持って生まれた性質は一生変わらない。……
134	実るほど頭（こうべ）をたれる稲穂かな 年をとっているんな知識を得ても人にはいつも低い姿勢で……
135	餅（もち）は餅屋蛇（じゃ）の道はへび 物にはそれぞれの専門家があって、素人はやはり専門家には……
136	安物買いの銭（ぜに）失い 安い物はそれだけ粗悪で長持ちしないから、かえって高いものにつくという意味。
137	柳に雪折れなし 柔軟なものは剛直なものよりもかえってよく事に耐えることができる。……
138	やはり野におけ蓮華草（れんげそう） 蓮華草のような野の花は、自然の野に咲いているからこそ……
139	山高きが故に貴からず 見かけが立派だからといって貴いのではない。
140	雄弁は銀、沈黙は金 上手によどみなく話すことは大切であるが、いつ、どのように沈黙……
141	楽あれば苦あり（苦あれば楽あり） 人生には、楽しいこともあれば、また、苦しいこともあり、一概には……
142	李下（りか）に冠をたださず（瓜田（かでん）に履（くつ）をいれず 他人から疑いを受けやすい行為は……
143	良薬は口に苦し 良い薬は苦くて飲みにくいが、病気にはよく効く。……
144	類は友を呼ぶ 同じ仲間同士が自然に集まるようになる。……
145	例外のない規則はない どんな規則にも必ず例外がある。……
146	論語読みの論語知らず 書物を読んで、言葉の上では理解するが、その真髓を体得せず、まして実行など……
147	ローマは一日にしてならず すべて大きな事業は、長い年月を必要とする。……
148	禍（わざわい）を転じて福となす 災難をうまく処置して、かえって幸福を得るようにすること。